

## 働く人へのメッセージ入賞作品発表

問い合わせ 商工業振興課 ☎51・2437

働く人が疲れをいやし、勇気づけられるような感謝、ねぎらいのメッセージ(55字以内)を募集した結果、全国から1707点の応募があり、次の作品を選出しました。※敬称略。入賞作品はホームページ(<http://www.city-toyohashi.jp/2856.htm>)に掲載

### 最優秀賞(1点)

お父さんへ

尾崎葵(豊橋商業1年)

私は思春期。夜遅くまで働いてきて疲れている父。いつも素っ気無い態度だけど、感謝しているよ。靴磨き気付いてる。

### 《ひとこと》

私は思春期で疲れている父にいつもそっけない態度で接しているが、恥ずかしながら感謝を靴磨きで表わしています。

### 優秀賞(2点)

バスやタクシーの運転手さんへ

柳生里紗(神奈川県32歳)

残業の帰り、バスやタクシーの運転手さんが優しいと、気持ちがあつとします。夜遅いのに、いつも笑顔をありがとう。

お父さんへ

鈴木麻衣(千葉県29歳)

父の日はネクタイばかり贈った思春期の私。汗びっしょりの作業服がお父さんの立派な勲章だって、今は分かっているよ。

### 奨励賞(4点)

杉野柚香(吉田方中3年)、青山優人(石巻小6年)、小関秀昌(大阪府53歳)、安藤一明(長野県29歳)

### 特別賞(5点)

芳賀亮太(羽田中1年)、千須和梨沙(松葉小4年)、大川滯央(高根小2年)、西田金吾(大阪府65歳)、松本智恵子(北海道40歳)

### 作品展を開催します

とき 11月12日(水)～25日(火)

(土日曜日、祝日を除く)

ところ 市役所市民ホール(東館1階)

## 暮らしの安全安心

ひとことメモ

### 周囲の見守りで高齢者の消費者トラブルを防ぎましょう

身に覚えのない架空請求には連絡をしないでください

#### 問い合わせ

豊橋市消費生活相談室 ☎51・2305 ※月～金曜日午前10時～午後4時30分、愛知県東三河県民生活プラザ ☎52・0999 ※月～金曜日午前9時～午後4時30分

認知症などの理由によって判断能力が不十分な状態になっている高齢者のトラブルが、全国的に過去最高となっています。認知症など的高齢者はトラブルや被害にあつているという認識が低く、一人暮らしの高齢者では周囲の気づきが遅れてしまいがちです。また、家族や周囲の人が気づかないうちに業者から次々に商品を購入させられて被害が拡大するケースも多く見られます。被害に気付いても、契約した経緯を忘れていたり契約書が見つからなかったりして、被害回復が難しくなります。日頃から次の点に注意しましょう。

#### ■見守り・気づき

不審な契約書や書面、大量の商品、工事の形跡、不審な電話のやり取りや困っているようすなど、いつもと変わった点はないか確認する。

#### ■声かけ・確認

少しでも変化に気づいたら、「何か困っていませんか?」「業者から勧誘されていませんか?」など高齢者本人に声をかけ、経緯を確認してメモを残す。

認知症などの症状がみられる場合には、できる限り医師の診断書を手しておきましょう。判断能力が不十分であることが客観的に証明できるため、解決や被害の救済に役立つことがあります。

家族やホームヘルパー、地域包括支援センターなどからでも相談することができます。

携帯電話に「有料情報サイトの料金が未納なので、法的措置をとる」「ネット通販でテレビの注文を受け付けた」というメールや、「訴訟問題通知」というタイトルのはがきが届いたという相談が続いています。次の点に注意しましょう。

- ・架空請求のメールやはがきは、不特定多数に送られます。「連絡するよ」に」と書かれていて、連絡するとお金を払うように誘導されます。身に覚えがなければ無視しましょう。
- ・頻繁にメールが届くようであれば、迷惑メールブロック設定を利用しましょう。
- ・本当に訴えられたときは、裁判所から「特別送達」という方法で書類が送付されます。その場合は、放置せずにお早めにご相談ください。

# わくわく活動ひろば

## オアシスG・J・B

「孤独死」や「認知症」などが社会問題となる中、私たちは在宅高齢者を地域で見守ることにより、一人暮らしの方や引きこもっている高齢者を取りまく環境を改善したいという思いで、「コミュニティカフェ・オアシス」をオープンし、7年目を迎えました。毎月第2土曜日に心身の健康維持を図ることを目的とした「健康体操」「ビンゴゲーム」のほか、参加者の役に立つ「防犯・安全講話」など、高齢者同士が「情報交換のできる場」を提供しています。

また、開催告知のチラシをポスティングする際に、郵便受けに郵便物がたまっていないか確認することで「見守り」の役割や、いつもの参加者が来ていない場合はようすを見に行き安否確認をしています。

現在、ボランティアとして参加していただける方やアイデアを募集中です。また、新たに「コミュニティカフェ」を運営したいという方はご連絡ください。運営方法を一緒に考えましょう。



9月に開催したコミュニティカフェのようす

**問い合わせ** NPO  
法人オアシスG・J・  
B 理事長 小池(☎)  
62・9729

トヨッキー基金への寄附は、随時受け付けしています。この基金への寄附は税金の優遇措置があります。詳しくは市民協働推進課(☎51・2483) <http://www.city.toyohashi.lg.jp/5230.htm>

**【寄附累計】**  
6,288,247円(平成19年度から)  
464,684円(平成26年度受入分)

## 再発見！丸山薫

### 秋

留守の間に

誰か訪ねてきた

庭の北側をまわって

閉め切った窓のガラス戸のすきまから

こっそり 一枚の名刺をすべりこませて行った

名刺は黄いろく

ひやりとして

落葉の形をしている

「秋」

と たった一字 刷ってある



戦後、丸山薫が住んでいた住居

### 「秋」について

「秋」は昭和25年に豊橋市の中学校の新聞に発表されました。薫は昭和23年に疎開先の山形県から故郷の豊橋に戻り、当時は東雲町や東田町に住んでいました。

第一連の内容は分かりやすく、特に問題はありませんが、「北側をまわって」というところを、頭に入れて置いてください。第一連を読み終えて、読者は名刺に記されている名前が気になります。第二連、その名刺は「黄いろく／ひやりとして」について、どうやらいちようのみみじ(黄葉)のようです。そうです。この詩は、いつのまにか「秋」が訪れていたということを、季節を人格化して、擬人法で表現したものです。「北側をまわって」というのは、いちようの黄葉を窓から差し入れた誰か、つまり秋が北から来たことを暗示していたのです。薫は木の葉を名刺に見立てるといふ機知が気に入ったようで、別の詩(「晩秋」)にも用いています。その詩でも名刺は北の窓から入れられます。

**解説** 飛高隆夫さん(大妻女子大学名誉教授・丸山薫賞運営委員会委員長)

**問い合わせ** 文化課(☎51・2874)

詩人丸山薫の没後40年を記念して、薫の作品を毎月紹介していきます

## 豊橋市内の平成26年9月の交通事故(人身)

[ ]は平成25年9月、( )は平成26年の合計

●件数 265件 [282件] (2,302件)

●死者 1人 [ 1人] ( 14人)

●傷者 314人 [322人] (2,884人)

※夜間はスピードを落とすなど十分注意して運転しましょう

## 豊橋市の人口と世帯

(平成26年10月1日現在)

●人口 378,898人(前月比109人減)

[男190,062人／女188,836人]

●世帯 151,449世帯(前月比18世帯増)

※このうち外国人は13,638人／6,687世帯

## 今月の納税

国民健康保険税 第5期分

納期限 12月1日(月)

早めにお近くの金融機関、ゆうちょ銀行・郵便局またはコンビニエンスストア(バーコード印字のある納付書のみ)で納めましょう。納税には手間のからない口座振替の制度が便利です。

**問い合わせ:** 納税課(☎51・2235)